

## 学校の教育活動から

## ○知のオリンピックの結果（2学期）

部門	賞	1の1	2の1	3の1	4の1	5の1
漢字	金	N・M	M・N	S・M	T・N	Y・M
	銀	K・K	A・M	A・Y	H・K	A・S
	銅	T・K	N・R	M・S	N・K	N・S
ことば	金	K・M	U・E	R・A	T・N	A・S
	銀	N・M	M・N	O・S	K・R	A・H
	銅	O・H	N・R	W・M	I・Y	N・S
計算	金	N・M	U・E	M・K	N・K	N・S
	銀	K・K	K・R	K・M	T・N	U・M
	銅	K・M	S・H	W・M	I・F	A・H
暗記	金	E・R	A・H	A・Y	N・K	A・H
	銀	K・M	N・R	W・M	T・N	A・S
	銅	N・M	S・H	K・T	I・Y	K・N

## 感じたことから

昨年、メジャーリーグベースボールのワールドシリーズでMVPに輝いた山本由伸投手が、あるトークショーの中で、次のようなお話をしたそうです。

「上には上がいるとよく言いますけど、その通りで。一つずつ目標をクリアしていくたらまた次が見えて、もっとこうなりたい、もっとこうなりたいと強く思うので。そのためには何するべきなのかという小さな目標がいっぱいあって。その連続で、気付いたらここまで来られていました。」



というものです。

何にしてもそうでしょうが、ある目標を達成できたらそれで終わり、というのではなく、さらにより高い目標を設定して進んでいくことが一人ひとりの更なる成長につながるでしょう。そして、そのためには、「目標を達成するための要因を分析した“小さな目標”的積み上げが大事になってくる」ことを山本投手の言葉は教えてくれているように思います。

上記の「知のオリンピック」の受賞者（受賞者ばかりではなく全校のみんなも）は、メダル獲得のためにこうした姿で頑張ってきたことだと思います。例えば、「暗記部門」の課題をいきなり全部覚えようとしても難しいでしょう。今日はここまで、明日はここまで、さらに明後日は…という小さな積み上げをクリアしていく、始めはとても覚えきれないと感じた内容を暗記できたはずです。きっと、「知のオリンピック」以前の自分に比べ、一段と高い位置に成長したことでしょう。

今月の14日（土）には、「持久走大会」があります。目標タイムを設定してそれをクリアしたら、さらに速いタイムを設定して…というように子ども達は自分を高めていくことでしょう。そのためには、体育の時間、持久走タイムを利用してコツコツと自分の持久力を高めていっています。中には、朝から一人で運動場を淡々と走って、小さな目標を達成しようとしている子もいます。頼もしくなりません。全校のみんなが、持久走大会を通して成長していく姿がとてもとても楽しみです。

